こわいどしゃさいがい

りゅうおうきたしょうがっこう

一ねん三くみ　もちづき　りりゅう

　どしゃさいがいとは、たくさんあめがふったり、じしんでやまがくずれたりがけがくずれたり、じめんのすべりなどで、ひとのたいせつないのちやいえやくるまなどが、とてもきけんなじょうたいになることもある、さいがいです。

　ぼくのひいおじいちゃんと、おじいちゃんは、けんせつぎょうのかいしゃをしていたので、ぼくはおじいちゃんにどしゃさいがいについて、はなしをききました。

「あめが、たくさんふるとやまのつちが、ながれでてきて、どうろにじどうしゃがとおれなくなるんだよ。だからタイヤショベルやダンプカーで、なんにちもなんにちもかけてどうろをふさいだどしゃを、じどうしゃがとおれるように、きれいにかたづけるんだよ。

そして、どうろがきれいになってじどうしゃ

がとおれるようになるんだよ。と、おしえてくれました。
はなしをきいてぼくは、とてもこわいなぁとおもいました。
どしゃさいがいがもし、おきたらとてもこまるからぼくはひなんするひなんばしょを、あらためて、かくにんしました。もっていくものもかくにんをしました。

とてもこわいどしゃさいがいは、いつおきるかわからないから、しっかりひごろから、さいがいに、そなえることがとてもだいじだとおもいます。
そして、どしゃさいがいのおそれのあるきけんなばしょにはいかないようにしたいです。

これからも、どしゃさいがいをふせぐように、きけんなばしょやちいきでこうじをしているとりくみなどを、テレビのニュースでみました。

これからもどしゃさいがいがおきないようにいのります。